

令和8年(2026年)4月20日 (月曜日)

GW三島

松毛川河畔に富士山公園

樹齢130年の木保全 憩いの場整備



三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は17日、同市と沼津市にまたがる松毛川の河畔の空き地に富士山を望める「狩野川・松毛川富士山公園」を整備した。工事によって伐採される予定だった鳥のすみかや餌場となっていた推定樹齢130年のセンダンを残し、住民らの憩いの場所として整備した。

公園は広さ84平方メートル。狩野川管内河川整備工事に関わる付帯道路工事でセンダンを伐採し、資材置き場として整備される予定だった国有地。貴重なセンダンを伐採されること

芝張り作業に取り組み
参加者＝沼津市

で、生き物への影響などを危惧したGW三島が調整仲介役となり、国や三島市などをまとめ、堤防工事を請け負う加和大建設から資金的協力を得て整備した。

同日の整備作業にはGW三島スタッフ、加和大建設社員らが参加し、地面に芝を張った。工事によって伐採された樹齢100年以上

のエノキ2本から作った木製ベンチ2基も設置した。今後、テールも作り、設置する予定。新たにエノキ2本も植樹した。同公園は今後、GW三島が中心となって管理するという。

GW三島の渡辺豊博専務は「四季折々の風景、鳥のさえずり、美しい富士山を楽しんでほしい」と話した。